

# がん薬物療法における薬剤師の役割

国立がん研究センター  
中央病院  
外来化学療法主任 橋本浩伸



National Cancer Center Hospital

## 最良のがん医療を推進するため

- 「最善のがん医療の提供」
- 「新しい医療の研究開発と普及」
- 「教育、研修を通じたがん医療の向上」
- 「国内外への情報発信」



National Cancer Center Hospital

# 新しい医療の研究開発と普及

- ▶ 治験薬の保管・管理
- ▶ 治験薬の無菌調製



National Cancer Center Hospital

3

## 治験薬の保管管理

内服



(室温)



(冷所・15~25℃)



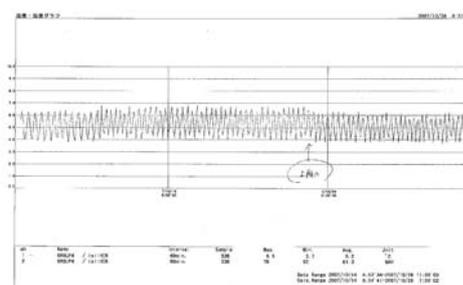
注射



(室温)



(冷所・15~25℃)



常に適正な条件で保管管理

4

# 無菌調製



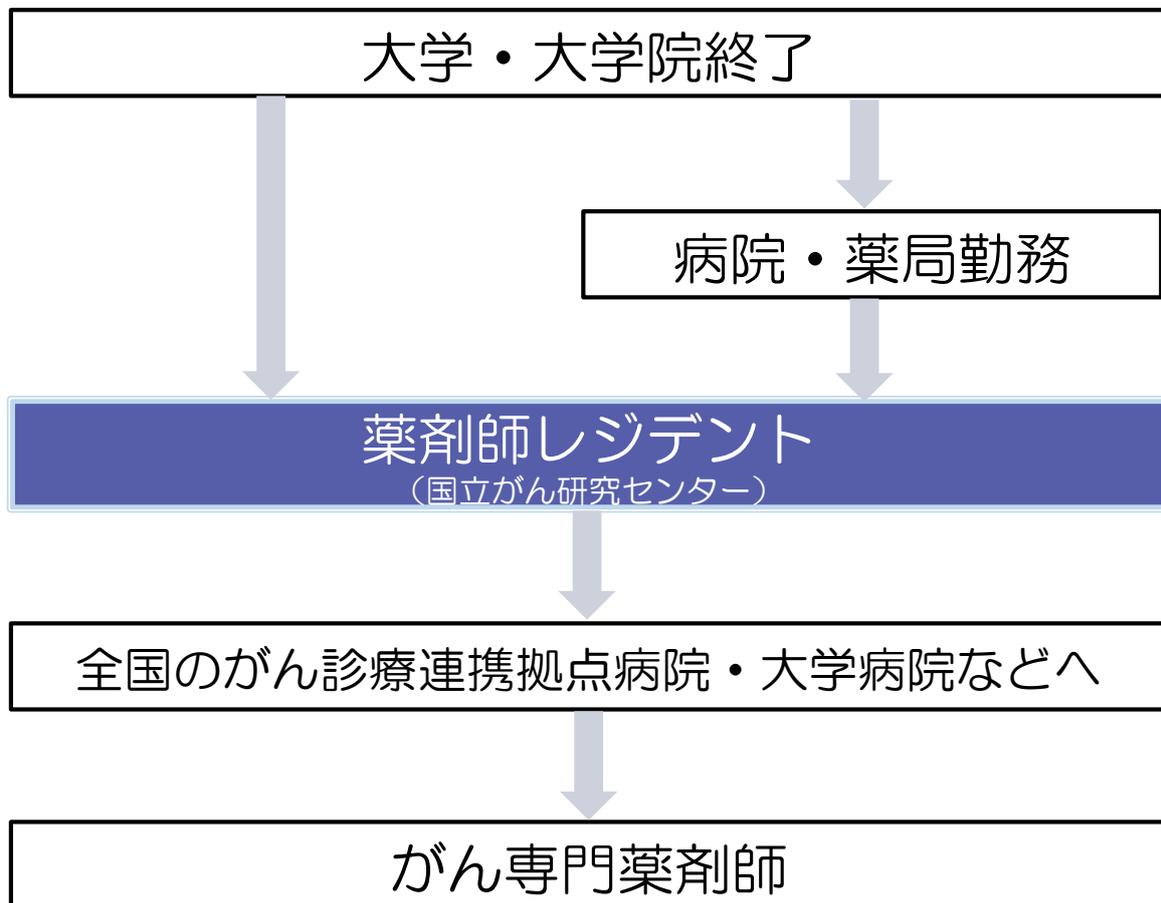
治験薬の調製方法



## 「最善のがん医療の提供」

- ▶ 患者指導（がん専門薬剤師による説明）



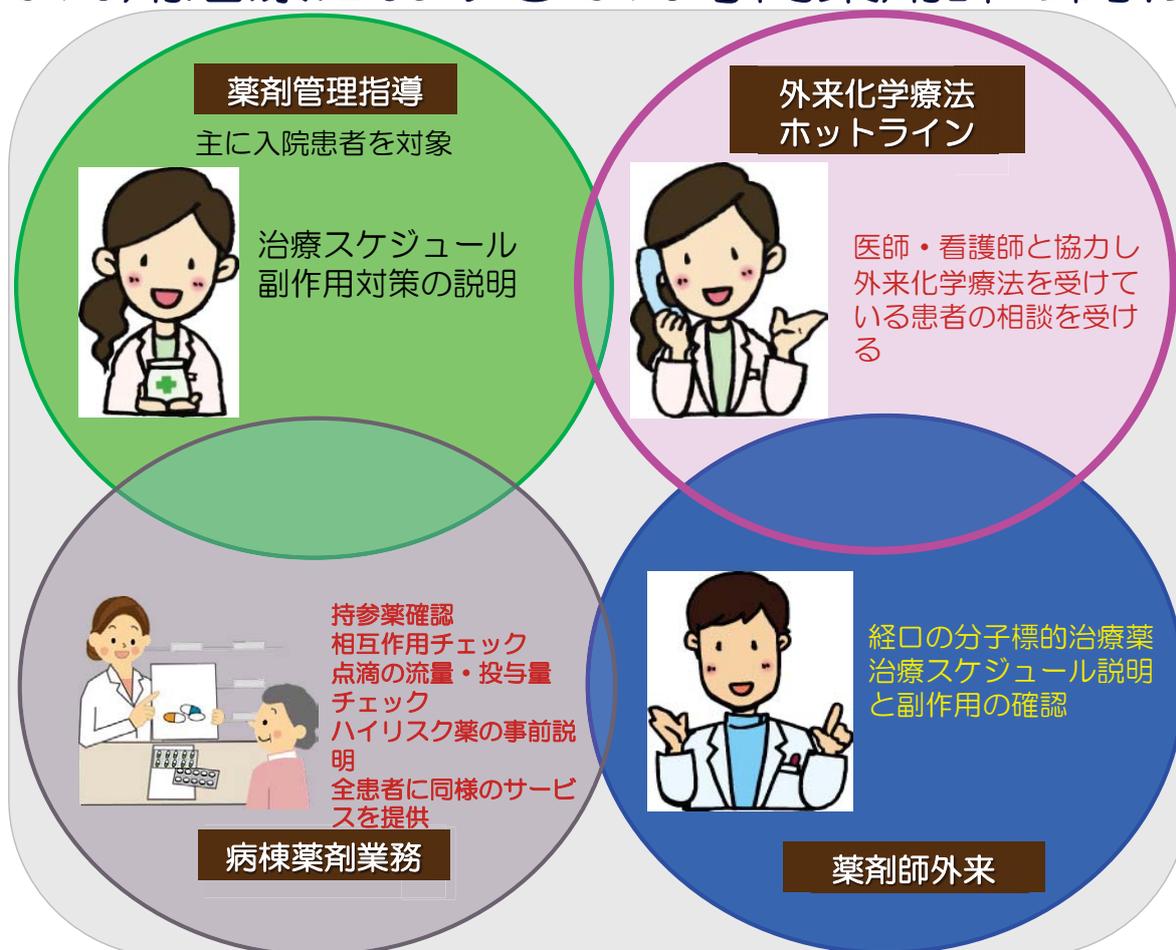


## がん専門薬剤師の要件

- 薬剤師としての実務経験を5年以上有する
- 学会員である
- 指定した認定薬剤師の資格を有する
- 学会の定めた研修カリキュラムに従ってがん薬物療法に関する5年以上の研修歴を有する
- 規定の講習50単位の受講
- がん患者への薬学的介入症例サマリ50症例



# 抗がん剤治療におけるがん専門薬剤師の関わり



9

## 薬剤師による対面式面談

- 治療内容をまとめた説明書
- がん専門薬剤師による説明
- プライバシーに配慮
- 時間に余裕をもった面談

